

平成30年度
 社会福祉法人 心友会
 事業報告



実施事業名	事業所名
障害者支援施設 定員40名 (生活介護40名/施設入所支援40名)	しいのみ園
短期入所 定員18名	
日中一時支援 定員10名	
共同生活援助 定員25名	しいのみ園ほんだ
多機能型 定員30名 (生活介護20名、就労継続支援B型10名)	しいのみ園こころ
生活介護 定員20名	しいのみ園こころの都
放課後等デイサービス 定員10名 定員10名	しいのみ園ともたかだ しいのみ園ともみやこ
特定相談支援、一般相談支援、障害児相談支援 千葉県障害児等療育支援	相談支援センターしいのみ
地域包括支援事業	福祉のまちづくり支援室

基本理念・職員の使命	P 3
職員倫理綱領	P 4
職員行動規範	P 5～7
社会福祉法人心友会沿革	P 8～10
社会福祉法人心友会理事・評議員会開催状況	P 11～12

I. 総務課

1. 総務係	P 13～14
2. 施設管理係	P 15
3. 医務係	P 16～17
4. 給食係	P 18

II. 施設入所支援課

1. 障害者支援施設しいのみ園	P 19～22
(1) 施設入所支援 (2) 日中一時支援 (3) 生活介護 (4) 短期入所	

III. 相談支援課 相談支援センターしいのみ

1. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業	P 23
2. 一般相談支援事業	P 24
3. 千葉県障害児等療育支援事業	P 24

IV. 地域生活支援課

1. 共同生活援助事業所	
しいのみ園ほんだ	P 25～26
2. 多機能型事業所しいのみ園ころ	P 27～29
3. 生活介護事業所しいのみ園ころの都	P 30～31
4. 放課後等デイサービス事業所	
しいのみ園ともみやこ	P 32～35
しいのみ園ともたかだ	P 36～38
5. 福祉のまちづくり支援室	P 39～41

V. しいのみ園グループ委員会

1. 防災管理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 2 ~ 4 4
2. 給食委員会・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 5
3. 衛生委員会・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 6

VI. 決算報告

1. 貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 7
2. 事業活動収支計算書・・・・・・・・・・・・ P 4 8
3. 資金収支計算書・・・・・・・・・・・・ P 4 9
3. 経営指標（2期分）・・・・・・・・・・・・ P 5 0
4. 人事記録・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 1
5. 事業組織図・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 2

社会福祉法人心友会

心友会

社会福祉法人心友会は、社会福祉法の理念に従い、法人の理念を定め実践する。

基本理念

親亡き後の子供達の為、国際社会、地域社会で人間らしく安心・安全・共生できる心豊かな施設づくり

職員の使命

1. 私達は、常に感謝の気持ちを持ち支援し続ける
2. 私達は、常に初心に戻り、自己研鑽し支援に活かし続ける
3. 私達は、利用者にとって最善の支援を考え実行し続ける
4. 私達は、地域の社会資源として、地域と共に歩み続ける
5. 私達は、福祉の未来を創造し続ける

社会福祉法人心友会職員倫理綱領

職員は、利用者一人ひとりの尊厳を守り、利用者がその人らしい自立した豊かな人生を自己実現できるよう支援することに努めなければなりません。

ここに、職員一人ひとりがその専門的役割を自覚するとともに、職員全員が共に協調し、公正かつ適切な支援をするための基本となる「職員倫理綱領」を定め、私たちの規範とします。

第1条 人権の擁護

いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、利用者の基本的人権を尊重し、擁護します。

第2条 人格の擁護

利用者の個性、主体性、可能性及び意思を尊重し、常に対等な立場で支援します。

第3条 心身の安全と健康の保持

利用者一人ひとりをかけがえのない存在として、心身の安全と健康の保持に努めます。

第4条 プライバシーの保護

利用者一人ひとりの尊厳を守るため、利用者のプライバシーの保護に努めます。

第5条 財産の管理

利用者の金銭や所有物等の財産については適正な管理に努めます。

第6条 専門的な支援

専門家としての使命と役割を自覚し、絶えず自己研鑽を重ね、自らの社会性の確立を図り、利用者に対する適切な支援の提供に努めます。

第7条 業務の透明性

利用者及びその家族等に対し、適切な情報の提供を行うことにより、業務の透明性の確保に努めます。

社会福祉法人心友会職員行動規範

この行動規範は、職員一人ひとりが「社会福祉法人心友会職員倫理綱領」に則り、利用者の人権を擁護し、公正かつ適切な支援をするための基本として定めます。

1. 基本的事項

(1) 人権の擁護

- ① 利用者に対する命令的、威圧的、権威的な言葉使いや態度を慎み、常に対等な立場で、利用者主体の支援を行います。
- ② 家族・関係機関等との連携を図りながら、利用者一人ひとりのニーズに対応したサービスの提供を行います。
- ③ 利用者が障害の態様等に関わりなく、地域社会を構成する一員としてあらゆる体験の機会を得られ、市民生活が送れるよう支援します。

(2) 人格の尊重

- ① 利用者をあだ名や呼び捨てで呼ぶことを慎み、呼称は「～さん」などの敬称を基本とします。
- ② 職員を「先生」と呼ばせること。また、職員間で「先生」と呼び合うことは慎みます。
- ③ 利用者の施設利用の開始に際しては、事前に見学や面接を行い、施設利用の目的、期間等を確認し、施設の基本方針、サービスプラン等を十分に説明するとともに、本人の施設利用の意思を確認します。
- ④ 利用者の生活歴を把握し、人としてより豊かな生活が送れるよう支援します。
- ⑤ 施設利用の終了については、本人及び家族等の意思を十分に確認し、適切に対応します。

(3) 心身の安全と健康の保持

- ① 利用者の生活環境の整備を推進し、事故防止と安全確保に努めます。
- ② 常にきめ細やかなケアを心掛けるとともに、日頃から医療機関との綿密な連携を図り、利用者の健康保持に配慮します。
- ③ 利用者の薬の服用については、服用内容を十分確認し、適切に行います。
- ④ 利用者に関わる事故や疾病については、速やかに家族等に知らせ、本人及び家族等に十分説明します。

(4) プライバシーの保護

- ① 職務上知り得た利用者の個人情報等については、秘密を保持します。
- ② プライベートな時間と場が確保されるよう配慮します。
- ③ 居住空間については、プライバシーを守ります。
- ④ ソーシャルメディア（ブログ、フェイスブック、ツイッター、掲示板、ホームページ等インターネットを利用した情報発信媒体をいう。）において機密情報を発信することも機密情報の使用、開示又は漏洩に当たるため、当該行為を絶対に行わないことを誓約いたします。

(5) 財産の管理

- ① 利用者の年金や預り金等の管理は、「金銭管理要綱」に基づき適切に行い、事故防止に努めるとともに、その使用については、利用者及び家族の意思に基づき行えるよう支援します。

(6) 専門的な支援

- ① 利用者一人ひとりの個性や障害態様等に応じ、可能性を伸ばし自立を促すような支援を行います。
- ② 利用者の意思を尊重し、各職員がその支援内容を共有し、連携のもとに支援します。
- ③ 利用者との対等な関係に基づく、信頼と納得が得られるサービスプランの立案を行います。
- ④ 利用者の生活が、社会一般の文化や生活習慣などができるだけ反映されたものとなるようにします。
- ⑤ 利用者が社会的なマナーやルールを身につけられるように、多様な機会を提供します。
- ⑥ 利用者が地域の社会資源を活用した体験の機会を多く持てるようにします。
- ⑦ 全ての利用者にとって「働く」ことの意義の理解が進むようにします。
- ⑧ 地域生活や就労生活に関する利用者の意向を尊重し、その可能性を育み実現に向け支援します。
- ⑨ 利用者の生活環境に配慮し、生活の場と作業の場を可能な限り明確に区別するようにします。

(7) 業務の透明性の確保

- ① 施設運営、支援内容等に関し、利用者や家族に定期的に説明するとともに、意見、要望等を聞く機会を設け、利用者等の意見が反映されるようにします。
- ② サービスの自己評価制度及び苦情解決制度を実施することにより、利用者に対するサービスの質の向上を図ります。

2. 日常生活における支援体勢

- ① 常に利用者と職員の挨拶を励行するとともに、利用者の日常的な会話に耳を傾け意思の疎通と情緒の安定を図ります。
- ② 利用者に対し、日常生活や行事等の日程は予め確実に伝え、円滑に日常生活を送れるようにします。
- ③ 食事や入浴等、生活時間にゆとりを持たせ、楽しくゆったり過ごせるようにします。
- ④ 利用者との交わした約束は守ります。

3. 禁止事項

ここに定める事項は、職員一人ひとりが厳に謹み、行ってはなりません。したがって利用者個々の状況により、一定の制限行為を実施する場合には、緊急止むを得ない場合及び事前に本人・家族等に十分説明し承諾を得た場合に限られます。また、この場合講じられる措置は、事業計画や個別支援プログラム等に明記し位置づけられ、実施される必要があります。

(1) プライバシー侵害の禁止

- ① 利用者の入浴、衣服の着脱、排泄等の際に異性職員による介助及びこれに準ずる支援をすること。
- ② 利用者個人宛の郵便物等を本人の了解なしに開封すること。
- ③ 利用者の衣服の着脱やトイレ使用の際、人目にふれるなど配慮に欠けること。
- ④ 本人の了解なしに居室に入ったり、所持品の確認をすること。
- ⑤ 利用者本人や家族の了解を得ずに、本人の写真、名前又は製作者名の入った作品を掲載、展示したりすること。

(2) 制限の禁止

- ① 自傷や他の利用者に害を与えるなどの理由により、安易に行動上の制限を加えること。
- ② 利用者と家族、知人との間の電話や手紙など制限すること。
- ③ 利用者の帰省、面会、外出等の自由を一方的に制限すること。

(3) 強要の禁止

- ① 命令口調や態度で利用者に指示すること。
- ② 作業等の諸活動に対し、いたずらにノルマを課すこと。
- ③ 施設側の都合で帰省や施設利用の終了を強要すること。
- ④ 利用者個々の人格を無視した画一的な行為を強要すること。

(4) 差別の禁止

- ① 殴る、叩く、蹴る等の暴力行為を行うこと。
- ② 正座・直立させるなどにより肉体的苦痛を与えること。
- ③ 身体拘束、閉じこめ等、行動を制限する行為を行うこと。
- ④ 健康上の理由のない食事制限や長時間の放置をすること。
- ⑤ 命令的、威圧的な言葉遣いや態度又は無視等による精神的苦痛を与えること。
- ⑥ 性的嫌がらせ、わいせつな行為をすること、又はわいせつな行為をさせること。
- ⑦ 利用者に関わる体罰等を見て見ぬ振りをすること。

社会福祉法人 心友会 沿革

平成10年 7月	社会福祉法人心友会設立準備委員会立ち上げ 千葉市緑区高田町知的障害者入所更生施設準備委員会開設
平成14年 3月20日	社会福祉法人心友会設立の認可（社会福祉法第32条の規定） 千葉市指令保障第406号
平成15年 3月1日	知的障害者更生施設「しいのみ園」 認可 事業者番号12100200033318 知的障害者短期入所「しいのみ園」 認可 事業者番号12100200033136
平成15年 4月1日	千葉市緑区高田町に知的障害者更生施設しいのみ園開所 （定員 50名 短期入所 6名）
平成17年 4月1日	児童短期入所認可（定員 宿泊6名 日中預かり15名）
平成18年 4月1日	自活訓練事業認可（定員2名） 事業者番号12100200033318
平成18年 10月1日	障害者自立支援法施行に基づく指定障害者福祉サービス事業 短期入所「しいのみ園」 認可 事業所番号1210100762
平成19年 4月1日	日中一時支援事業所認可（千葉市委託） 事業所番号1260100761 （定員 日中預かり型10名 放課後対策型15名）
平成20年 6月1日	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだ」 認可 事業所番号1220100216 運営開始（定員6名）（しいのみ園あゆみ）
平成20年10～3月	障害者自立支援基盤整備事業 しいのみ園デイコーナー増築・新支援員室の新設
平成21年 4月1日	生活介護事業「しいのみ園こころ」 認可 事業所番号1210101653 運営開始（定員20名）
平成21年 4月10日	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだ駅前」 運営開始（定員6名）（しいのみ園のぞみ）
平成21年 12月3日	韓国 学校法人 瑞江学園 瑞江情報大学 交流協約書の締結
平成22年 3月	財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様 社団法人中山馬主協会様の助成により しいのみ園1階2階共用部廊下張り替え工事
平成22年 4月	千葉市障害児等療育支援事業認可（千葉市委託）
平成22年 7月	児童デイサービス（Ⅱ型）事業「しいのみ園とも」 認可 事業所番号1210100762 運営開始（定員10名）
平成23年 3月	社会福祉法人 清水基金様の助成によりトヨタノア購入

社会福祉法人 心友会 沿革

平成23年 4月	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだ2丁目」 運営開始（定員6名）（しいのみ園ひかり）
平成23年 4月	生活介護事業「しいのみ園こころの都」認可 事業所番号1210102065 運営開始（定員20名）
平成23年 5月	「しいのみ園とも」 「しいのみ園こころの都」事業所へ移動
平成23年 11月	財団法人 J K A様（オートレース補助事業）の助成によりトヨタハイエース購入
平成24年 4月	障害者自立支援法新法移行 障害者支援施設「しいのみ園」 事業所番号1210100762 運営開始（定員 生活介護40名/施設入所支援40名）
平成24年 4月	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだみどり」 運営開始（定員7名）（しいのみ園つばさ）
平成24年 4月	放課後等デイサービス事業「しいのみ園とも みやこ」事業所番号1250100144 運営開始（定員10名）
平成24年 4月	放課後等デイサービス事業「しいのみ園とも たかだ」事業所番号1250100136 運営開始（定員10名）
平成24年 4月	特定相談支援事業所「相談支援センターしいのみ」 認可 事業所番号1230100271 運営開始
	障害児相談支援事業所「相談支援センターしいのみ」 認可 事業所番号1270100033 運営開始
	指定一般相談支援事業所「相談支援センターしいのみ」 認可 事業所番号1230100271 運営開始
平成24年 4月	日中一時支援事業所（放課後対策型） 千葉県サービスの廃止により事業廃止
平成24年 7月	社会福祉法人 千葉県共同募金会様の助成により スズキワゴンR購入
平成24年 7月	障害者自立支援基盤整備事業 しいのみ園厨房/食堂 増改築工事
平成25年 4月	障害者総合支援法に移行
平成26年 3月	日本財団様の助成により スズキキャリィ購入
平成26年 4月	千葉県障害者短期入所増床事業 定員16名から18名へ変更
平成26年 4月	しいのみ園ほんだ 共同生活援助事業へ一元化
平成26年 6月	経済連携協定（EPA）事業を国際貢献事業として捉え受け入れ準備 （平成27年度フィリピン介護福祉士候補2名）
平成27年 3月	日本財団様の助成により ホンダ ステップワゴン2台購入
平成27年 3月	千葉県GHスプリンクラー整備事業 しいのみ園ほんだ（あゆみ、のぞみ、ひかり、つばさ）スプリンクラー整備完了

社会福祉法人 心友会 沿革

平成 27 年 12 月	経済連携協定（EPA）事業を国際貢献事業として捉え受け入れ開始 （平成 27 年度フィリピン介護福祉士候補 2 名）
平成 28 年 2 月	地域包括支援事業「福祉のまちづくり支援室」開設
平成 28 年 3 月	29 人乗りマイクロバス トヨタコースター購入
平成 28 年 3 月	日本財団の助成により（助成金額 1,260,000 円 総金額 1,825,633 円） しいのみ園こころの都 ホンダステップワゴン購入 ※8 人乗り
平成 28 年 3 月	しいのみ園 大規模修繕工事完了
平成 28 年 3 月	千葉県指定障害者グループホーム整備事業の助成により（助成金 15,584,000 円） 「しいのみ園ほんだ藤沢」（さくら寮）新築工事完了（総金額 20,779,740 円）
平成 28 年 3 月	千葉県障害者グループホーム自動火災報知設備整備補助金により 「しいのみ園ほんだ」（あゆみ寮）自動火災報知設備整備（助成金 181,000 円） 「しいのみ園ほんだ駅前」（のぞみ寮）自動火災報知設備整備（助成金 169,000 円）
平成 28 年 12 月	経済連携協定（EPA）事業を国際貢献事業として捉え受け入れ （平成 28 年度フィリピン介護福祉士候補 2 名）
平成 29 年 2 月	日本財団の助成により（助成金 930,000 円 総金額 1,166,000 円） しいのみ園 ホンダ N-BOX 購入 ※4 人乗り
平成 29 年 10 月	運動場設備工事完了
平成 29 年 12 月	財団法人 J K A 様の助成により（助成金 1,725,000 円 総金額 3,817,000 円） しいのみ園 トヨタハイエース購入 ※10 人乗り
平成 30 年 4 月	インターンシップ候補生（韓国人）受入れ開始
平成 30 年 12 月	フィリピンケソンシティ障害福祉課表敬訪問
平成 31 年 3 月	平成 30 年度 NHK 歳末助けあい助成金にてコードレス掃除機 4 台購入 （助成金 161,000 円）

平成30年度理事・評議員会の開催状況

社会福祉法人 心友会

1. 会議の開催

(1) 理事会開催

第54回理事会 平成30年5月19日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会決算（案）の件
- 第2号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会事業報告（案）の件
- 第3号議案 しいのみ園絆棟建設に係る設計事務所随意契約（案）の件
- 第4号議案 しいのみ園こころの誉施工業者選定（案）の件
- 第5号議案 社会福祉法人心友会 評議員会の招集について（案）

第55回理事会 平成30年8月18日

〈議決事項〉

- 第1号議案 社会福祉法人心友会ボランティア受入規程（案）の件

第56回理事会 平成30年11月10日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成30年度社会福祉法人心友会 中間決算(案)の件
- 第2号議案 平成30年度社会福祉法人心友会 第一次補正予算(案)の件

第57回理事会 平成31年1月26日

〈議決事項〉

- 第1号議案 社会福祉法人心友会就業規則変更(案)の件
- 第2号議案 社会福祉法人心友会評議員会開催について(案)の件

第58回理事会 平成31年3月30日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成30年度 社会福祉法人心友会第二次補正予算（案）の件
- 第2号議案 平成31年度 社会福祉法人心友会事業計画（案）の件
- 第3号議案 平成31年度 社会福祉法人心友会予算（案）の件
- 第4号議案 社会福祉法人心友会就業規則変更（案）の件
- 第5号議案 社会福祉法人心友会給与規程変更（案）の件

- 第6号議案 社会福祉法人心友会ともたかだ運営規程変更（案）の件
- 第7号議案 社会福祉法人心友会ともみやこ運営規程変更（案）の件
- 第8号議案 社会福祉法人心友会しいのみ園グループ敷地内禁煙（案）の件
- 第9号議案 社会福祉法人心友会任期満了に伴う理事及び監事選任推薦（案）の件

(2) 評議員会開催

第51回評議員会 平成30年6月16日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会 決算（案）の件
- 第2号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会 事業報告（案）の件
- 第3号議案 社会福祉法人心友会役員退任手当変更（案）の件

第52回評議員会 平成31年3月30日

〈議決事項〉

- 第1号議案 社会福祉法人心友会任期満了に伴う理事及び監事選任（案）の件

I. 総務課

1. 総務係

作成者 岩沼圭子

運営総括

新規生活介護事業所「こころの誉」を平成31年4月の開設に向け、利用者特性に合わせた開設書類準備や新たな人材確保に努めた。また、利用者様の特性を個別に活かせることができるよう、入所敷地内に別棟「絆棟」を建設したことから、職員の就業内容についても見直しを図り、利用者支援の充実につなげている。

将来の介護人材確保のため、新規EPA介護福祉士候補生の採用を実施し、現在就業中の介護福祉士候補生については、試験に向けた学習援助を行い、平成30年度実施された介護福祉士受験においては、受験した候補生全員が合格している。また、韓国瑞永大学校と連携した韓国大学生の就業援助や韓国外国人介護福祉士候補生介護ビザ取得に向けての相談・サポートを行った。

法人本部機能の強化を図るため、業務をマニュアル化して、業務の標準化を図り、随時見直しを行い、組織力向上に努めた。

事業内容

- (1) 公印の保管及び公印捺印書類の保管（写）、理事長印の書類（写）の保管。
- (2) 当該関係機関との連絡とそれに関する調整。
- (3) 理事・評議員会議事録の保管。
- (4) 公式書類の保管及び管理。
- (5) 職員の教育に関する研修会の申し込み。
- (6) 頂き物に関する礼状の作成郵送。
- (7) 職員の勤務状況の把握。
- (8) 物品の発注及び納入品の検品。
- (9) 販売物の金銭管理。
- (10) 利用者の預かり金（お小遣い）管理、及び年金の管理と保護者への現金出納帳、元帳の作成及び報告。
- (11) 利用者のお小遣いの使途管理及び確認。
- (12) 小口現金の管理と報告。
- (13) 介護給付費の請求及び入金の確認等。
- (14) 物品納入業者及び工事請負の見積もり及び契約に関すること。
- (15) 予算、決算に関すること。
- (16) 予算案、決算案の作成。
- (17) 財産の管理に関すること。
- (18) 台帳の管理。
- (19) 寄付金の受け入れに関すること。
- (20) 職員の人事、給与に関すること。
- (21) 規程、規則、内規等の管理に関すること。

- (22) 職員の労務管理及び福利厚生、その他、保険契約に関すること。
- (23) 補助金請求に関すること。
- (24) 本人負担金請求事務に関すること。
- (25) その他会計事務に関すること。
- (26) 行政当局、所轄消防署、警察署、土木事務所との連絡及び調整に関する業務。
- (27) 各種文書の校正及び職員の文章校正。
- (28) 事業計画、事業報告、決算、予算の遂行、管理に関すること。
- (29) 職員の人事システムに関する人材養成、研修指示書、資料、記録の管理。
- (30) EPA 外国人介護福祉士候補生の採用、滞在管理、他機関との連絡調整。

2. 施設管理係

作成者 岩沼圭子

運営総括

環境との調和に根ざした利用者様にとっての住みやすい環境作り・美観維持に努めた。

- (1) 日々の清掃の充実・定期清掃の充実
- (2) 不具合箇所・破損箇所の早期発見・補修整備
- (3) 施設整備の管理・備品・鍵等の管理徹底

事業内容

- (1) 清掃業務
 - ① 毎日清掃の職員分担化
 - ② 定期清掃の実施（美観維持の為、床のワックス清掃等）
- (2) 建物管理
 - ① 不具合報告書の職員提出の徹底
 - ② 破損箇所の補修（出来る所は自分で）
 - ③ 定期点検の年間計画作成（エレベータ・貯水槽・キュービクル等）
 - ④ しいのみ園本体の建物知識・設備知識向上に努める
- (3) 公用車管理
 - ① 鍵の管理
 - ② 車検証・自賠責保険・任意保険管理
 - ③ 車の整備管理（オイル交換・タイヤ交換等）
 - ④ 車検の管理（車検切れ等が無いように）
- (4) 新規事業立ち上げ時・増築・改修工事
 - ① 新規建物施行前・施工中・施工後の打ち合わせ・管理等
 - ② 新築・増築時、消防・市役所等との行政関連申請書類作成
- (5) 安全運転管理
 - ① 日々の安全運転管理に努める
 - ② 職員への安全運転意識向上の為の講習会の実施
 - ③ 新人職員への運転教育・管理

3. 医務係

作成者 吉江文子

運営総括

当しいのみ園に於いては、利用者の年代、年齢の幅が広く、10代から80代の方々が利用している。個々の利用者の人権尊重を踏まえ、健康管理、健康保持増進、疾病の早期発見、予防に努め、また起こり得た事故・外傷などの対処してきた。

個々の利用者の障害・健康管理的な問題は多種多様であり、常に個別性を重視し、自覚症状・他覚的症状・スタッフや家族などからの情報を参考にして、必要と認める時は受診を実施してきた。1年に2回の健康診断は確実に実施し、その結果、今後の健康状態に影響を及ぼす可能性があるかと判断した場合には専門医に受診している。

利用者の高齢化（一部）、長期におよぶ服薬による心身への影響など都度考慮し、定期受診時にくわしく報告し指示を仰ぎ、適切な方法で対処してきた。

感染症（インフルエンザや胃腸炎など）に対してもできるだけ感染を抑制できるよう実施してきた。今後も予測される問題などを想定し対処していく方針である。

事業内容

（1）健康管理

- ① 毎朝、スタッフの測定によるバイタルサイン（体温・血圧）食事の状態、活気の有無 通常等異なる動き、排泄状態などを確認して受診が必要かを判断している。又受診後は指示に従い内服管理・処置等を行っている。
- ② 医務室で対処できるものは、敏速に施行して治癒に向ける。
- ③ 感染症対策を明確にして、その意義を理解し正しい手順・方法で実施できるようにしている。

（2）定期健康診断の実施

- ① 年2回実施：総合診断の結果を得て、かかりつけ医、又は、専門医に受診。
- ② 職員に対しては、同様に結果をチェックし異常がある場合は再受診を促している。

（2）腸内細菌検査

毎月初めに入所・事業所・ハートケア・GH 職員および食事に関する就労者全員が提出をし、結果ほぼ95%以上の提出率である。検査結果も異常ない。

（3）歯科管理

- ① 2週に1回 7～8名ずつ訪問歯科受診を実施している。スケーリング・口腔ケアが中心だが、訪問治療で可能な場合は齲歯の治療も実施している。訪問で対処できないと判断した場合は専門医に受診をしている。

（4）腸内細菌検査

- ①毎月初めに入所・事業所・ハートケア・GH 職員及び食事に関する修了者ぜんいんが提出をし結果ほぼ95%以上の提出率である。結果も異常ない。

②

（5）服薬管理

- ① 8割程の利用者様が内服している。個人的な相違あるが多剤内服者もいる。受診時に変更があった場合には、その旨を連絡し間違いがないように管理している。

- ② 配役箱はダブルチェックをし、個々の薬に名前の印字を貼り付け間違いがないように名前を読み上げて確認した後与薬できている（誤薬防止）配薬箱には札を使用しチェック表と一緒に確認できるようにしている。（札は…外泊・不在・事業所など）
 - ③ 短期利用者が多いので 間違いがないように複数回チェック行っている。
 - ④ 薬に関する知識が得られる様に PC（医務課）にて情報発信をしている。
- (6) 看護日誌・看護記録・ファイルの管理
- ① 看護記録・受診記録・看護日誌の記入。
 - ② 記録物は5年間保存。
- (7) 個別看護支援計画の作成
- ① 個別対応看護は実施されているが、内容を明確にするため記載し多くのスタッフ間で共有できるようにする方針。実際はまだできていないのが課題である。
- (8) 保護者様との連携
- ① 医療的な面で、必要時連携をとっている。支援が中心となっているので要望あれば、医療面でバックアップしている。

4. 給食係

作成者 稲垣寿美子

運営総括

利用者の健康増進を図る栄養管理・栄養指導。利用者の健康状態と身体状態を把握し、食事形態・嗜好を考慮し、楽しい食事ができるよう心掛けた。

また、個人の活動面を考慮のうえ、生活習慣病の予防に努め、食堂や厨房内の衛生管理を徹底し、食中毒の未然防止に努めた。感染症時の食事対応で、拡大を未然に防ぐ対応に努めた。

季節を感じる行事食や手作りおやつを提供し、利用者の楽しみになる食事の提供を図った。

食育教育として毎月の給食便りを発行した。

事業内容

- (1) 各利用者の栄養管理
 - ① 個々の食事形態・食事量の把握
 - ② 疾患に対する栄養管理
 - ③ 給食委員会との連携
 - ④ 栄養所要量の算出
- (2) 嗜好調査の実施
 - ① 対象：利用者 年1回
- (3) 体重管理
 - ① 医務・支援側と連携
 - ② 対象：利用者
 - ③ BMIの算出・アセスメント作成
- (4) 衛生管理
 - ① 食堂の衛生管理・指導
 - ② 厨房の衛生管理・指導
- (5) 日々の観察
 - ① 支援員と連携
 - ② 咀嚼・嚥下・試行・食事マナー等
 - ③ 嗜好の変化
- (6) 書類管理
 - ① 献立一覧表・給食施設栄養管理状況報告書・残食量・栄養所要量・週間献立表
 - ② 食事箋・検食簿・体重表・栄養月報・食事相談記録報告書
- (7) 委託給食サービスとの連携
 - ① 食事箋の指示・献立に関する指示・衛生管理の指示
- (8) 特別食の管理
- (9) 食数の管理
- (10) 防災食の準備等への協力

II. 施設入所支援課

作成者 高山嶺

1. 障害者支援施設しいのみ園

運営総括

利用者様一人一人の特性やニーズに合った支援を考え、実行していくことを中心に、職員が強度行動障害者研修や福祉 QC 活動（業務改善活動）を学び、積極的に取り組みを行いながら、実際に支援に生かしていった。

強度行動障害者研修を修了した職員を中心に、利用者様の個々の特性に応じた環境設定や、個別支援を実施し、安心・安全な施設作りを行っている。

また、保護者の皆様とも連携しながら行事（お花見会・じゃがいも収穫祭・バーベキュー大会・利用者旅行・夏祭り・もちつき大会・新年会等）を行い、保護者と職員が常に情報共有を行いながら互いに協力しあえる環境設定を行うことができたように思われる。

国際厚生事業団 EPA 活動による、フィリピンから来た職員 2 名が介護福祉士の資格を取得しており、施設内における EPA 活動のバックアップ体制がアピールできたと思われる。ホームページ上にも動画を発信する等して、当施設の EPA 活動を外部の方にも PR している。

2. 実績報告

(1) 施設入所支援

- ・主に夜間帯における日常生活上の包括的な支援を提供。
- ・全居室、個室にて障害特性に応じた生活環境の提供。
- ・ADL 面における総合的支援の提供。
- ・医療機関や看護師・栄養士と連携し、健康管理を実施。必要であれば健康指導を行う。
- ・DVD 鑑賞やカラオケ、昼食外出やおやつ外出等余暇支援の実施。

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	40名	38名	1084名	30日	90.33% (36.13人)
5月	40名	38名	1104名	31日	89.03% (35.61人)
6月	40名	38名	1081名	30日	90.08% (36.03人)
7月	40名	38名	1138名	31日	91.77% (36.71人)
8月	40名	38名	1100名	31日	88.71% (35.48人)
9月	40名	38名	1100名	30日	91.67% (36.67人)
10月	40名	38名	1142名	31日	92.10% (36.84人)

11月	40名	38名	1115名	30日	92.92% (37.17人)
12月	40名	37名	1117名	31日	90.08% (36.03人)
1月	40名	37名	1080名	31日	87.10% (34.84人)
2月	40名	37名	1008名	28日	90.00% (36.00人)
3月	40名	38名	1105名	31日	89.11% (35.65人)
合計			13174名	365日	90.23% (36.09人)

※・・・少数点第2位以下切り捨て

(2) 生活介護

- ・常時支援を要する障害者に対して、日常生活上の包括的な支援を提供。
- ・ADL面、IADL面における総合的支援。施設内、施設外活動を提供。
定期的なミュージックケアを実施し、心身のリフレッシュを行う。
各活動班にて作業活動（施設内・施設外）を提供。
 - ①林産班 ホダ木運びを中心に椎茸栽培の他、週一回の散策活動を実施。
 - ②園芸班 ハウス内での花の管理や他事業所の植栽の水やり作業を提供。
 - ③室内活動班 ビーズ・陶芸・壁面制作やパズル・ぬりえ等ご本人の希望に添った作業種の提供。週一回リズム体操を実施。
 その他、定期的に各班にお楽しみ会を実施。

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	40名	64名	909名	22日	103.30% (41.32人)
5月	40名	64名	937名	23日	101.85% (40.74人)
6月	40名	64名	915名	22日	103.98% (41.59人)
7月	40名	64名	975名	23日	105.98% (42.39人)
8月	40名	64名	972名	23日	105.65% (42.26人)
9月	40名	64名	954名	22日	108.41% (43.36人)
10月	40名	65名	974名	23日	105.87% (42.35人)
11月	40名	65名	943名	22日	107.16% (42.86人)
12月	40名	65名	994名	23日	108.04% (43.22人)
1月	40名	65名	970名	23日	105.43% (42.17人)
2月	40名	65名	836名	20日	104.50% (41.80人)
3月	40名	65名	977名	23日	106.20% (42.22人)
合計			11356名	269日	105.54% (42.22人)

※・・・少数点第2位以下切り捨て

(3) 短期入所

- ・在宅において生活が困難になった方へ短期間の受け入れ実施。
- ・介護者へのレスパイト支援の提供。
- ・必要に応じた日常生活支援の提供。

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	18名	26名	491名	30日	90.93% (16.37人)
5月	18名	26名	465名	31日	83.33% (15.00人)
6月	18名	26名	490名	30日	90.74% (16.33人)
7月	18名	26名	472名	31日	84.59% (15.23人)
8月	18名	26名	490名	31日	87.81% (15.81人)
9月	18名	27名	485名	30日	89.81% (16.17人)
10月	18名	27名	530名	31日	94.98% (17.10人)
11月	18名	27名	479名	30日	88.70% (15.97人)
12月	18名	27名	543名	31日	97.31% (17.52人)
1月	18名	27名	464名	31日	83.15% (14.97人)
2月	18名	27名	464名	28日	92.06% (16.57人)
3月	18名	32名	535名	31日	95.88% (17.26人)
合計			5908名	365日	89.92% (16.19人)

※・・・少数点第2位以下切り捨て

(4) 日中一時支援

- ・日中における介護や介護者の休息等の必要な方に対して、一時的な預かりの場を提供。
- ・必要に応じた日常生活支援の提供。

3. 家族会・地域との関係や情報について

年月日	行事名等	備考・参加者等
4 初旬	お花見会	各日、各事業所職員・利用者参加
5/16	ゆうあいピック	職員9名・利用者6名
5/27	バーベキュー大会・保護者会総会	職員46名・利用者73名・保護者46名
6/29	じゃがいも収穫祭・保護者ボランティア	職員8名・利用者11名・保護者7名
7/3	利用者一泊旅行①	職員6名・利用者9名・保護者3名
7/12	利用者日帰り旅行	職員8名・利用者8名・保護者1名
7/29	歌謡ショー・保護者ボランティア	職員5名・利用者40名・
8/4	誉田町・都町 祭	各事業所職員・利用者参加
8/5	しいのみ園夏祭り	職員56名・利用者72名
8/26	千葉市 ソフトボール大会	職員4名・利用者10名

9/14	千葉県 ソフトボール大会	職員 4 名・利用者 10 名
9/16	利用者一泊旅行②	職員 6 名・利用者 8 名・保護者 3 名
9/26	利用者日帰り旅行	職員 9 名・利用者 11 名・保護者 4 名
9/28	花火大会	職員 9 名・利用者 49 名
10/3	利用者一泊旅行③	職員 5 名・利用者 9 名・保護者 4 名
10/12	芋ほり大会・保護者ボランティア	職員 5 名・利用者 5 名
10/17	利用者一泊旅行④	職員 6 名・利用者 10 名・保護者 4 名
11/7	利用者一泊旅行⑤	職員 6 名・保護者 4 名・利用者 7 名
11/20	利用者日帰り旅行	職員 5 名・利用者 5 名
12/4	利用者一泊旅行⑥	職員 7 名・保護者 4 名・利用者 9 名
12/22	もちつき大会・保護者ボランティア	職員 34 名・利用者 82 名
1/12	千葉市消防署出初式	職員 7 名・利用者 11 名
1/14	新年会・成人式	職員 52 名・利用者 90 名・保護者 50 名
1/16	千葉市警察署出初式	職員 7 名・利用者 11 名
2/8	ゆうあいびっく駅伝・マラソン	職員 4 名・利用者 6 名
3/3	マジックショー	各事業所職員・利用者参加
3/29	利用者納会	職員 23 名・利用者 44 名

4. 実習・視察・ボランティア受け入れ

実習受け入れ状況

年月日	学校等	実習内容
9/3-9/14	植草学園短期大学 (2名)	福祉施設実習
2/18-3/1	(2名)	福祉施設実習
9/19-10/4	京葉介護福祉専門学校 (1名)	福祉施設実習
2/18-3/2	明德短期大学 (1名)	福祉施設実習
3/1-3/11	千葉経済短期大学 (2名)	福祉施設実習
2/1-2/14	帝京平成大学 (1名)	福祉施設実習

5. 苦情について 特になし

Ⅲ 相談支援課 相談支援センターしいのみ

1. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

作成者 高見 正

運営総括

心友会の内外の相談窓口として、各関係機関と連携を図りながら、総合的なサービス提供を行った。また、相談支援専門員に対する研修に参加するなど、情報を収集するとともに、質の確保、他事業者所等と連携にも貢献した。

事業内容

(1) 計画相談支援

① 支給決定時

利用者（児）およびその保護者（成年後見人等）に面接し、心身の状況や環境、サービス利用に関する意向等を伺い、利用計画案を作成・提出した。

また、各事業責任者（担当者）と受入れ調整会議をもち、受入れ日や支援計画の調整を行った。

② 支給決定後

利用者（児）およびその保護者（成年後見人等）とサービス提供事業者と面接・連絡調整を行い、必要に応じ支援計画の見直しを行った。

③ サービス提供に関する状況確認

利用者（児）がサービス利用計画および個別支援計画にそった支援が提供されているか記録等を閲覧し、必要に応じて各事業所と連絡をとり、相談支援専門員の立場から支援方法等への助言・サポートを行った。

(2) 基本相談支援

障害を有している全ての方および家族、事業所等の相談援助を行った。必要に応じ利用者（児）およびその保護者（成年後見人等）からのニーズの聞き取りを行い、関係機関との連携を取り合った。

しいのみ園グループが展開している各事業を見学案内し、希望事業所と連絡調整・事業所の広報も兼ね、取り組んだ。

2. 一般相談支援事業

作成者 高見 正

運営総括

千葉市内を問わず、外部からの相談に積極的に対応し、主に病院や市町村からの困難ケースに対して積極的に向き合い、各関係機関と連携を図りながら、調整・対応に努めた。

事業内容

(1) 地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）

主に病院からの相談に対して、情報提供から、ケース検討会議の開催をするとともに積極的な受け入れができる様、事業所との連絡調整を行った。

又、緊急ケースに対しても迅速に検討会を設ける等、地域に貢献した。

3. 千葉市障害児等療育支援事業

作成者 高見 正

運営総括

千葉市に住む在宅障害児のライフステージに応じた地域での生活を支援するため、相談体制を整えた。地域の在宅障害児者及びその家族に対し、情報提供・援助・調整等を行い福祉の向上を図った。

事業内容

(1) 訪問療育相談事業

相談者の家庭を訪問し相談を行うが、取り扱ったケースはなかった。

(2) 訪問健康診査等事業

相談者の家庭を訪問し健康診査を行うが、取り扱ったケースはなかった。

(3) 外来療育相談事業

当園への来園により相談を行うが、取り扱ったケースはなかった。

(4) 施設支援一般指導事業

他事業所より相談を受けサービス利用に関する情報提供や相談援助を行うが、取り扱ったケースはなかった。

IV. 地域生活支援課

1. 共同生活援助事業所しいのみ園ほんだ

作成者 角田多香子

運営総括

地域と共に生きるを念頭に、地域との繋がりに強化していきました。

業務内容においては、5ホームの業務の標準化を目指してきました。具体的には昨年度に引き続きマニュアルの整備です。職員からの要望を吸い上げ、世話人とのコミュニケーションを大切にしていきました。

利用者支援においては、利用者様の声を聞き、利用者様に寄りそう支援をしていきました。平成30年11月には、利用者様の特性に配慮したホーム再編を行いました。週末における余暇外出に関しては、公的福祉サービスを利用した外出も組み、充実を図ってきました。

事業内容

- (1) 家事等の日常生活上の支援
- (2) 健康管理、金銭管理の支援
- (3) 日常生活における相談支援
- (4) 緊急時の対応
- (5) 日中活動に関わる他事業所等の関係機関との連絡調整
- (6) 休日における余暇活動の支援
- (7) その他必要な支援等

支援内容

- (1) 地域の中で、自己実現・自己決定を尊重し一人ひとりの生活スタイルに合わせ豊かな暮らしが送れるように支援を行いました。
利用者の個々の可能性、自主性を重んじ、当事者からの聞き取り及び日々の生活の記録、他事業者との情報の共有でその人らしい生活により近づくため当事者のニーズの汲み取りに努めました。(個別支援計画)
- (2) 毎日の健康管理チェック表を活用し、日々の健康管理に努めました。観察を中心として利用者様の変化を汲み取り職員間・医療機関と連携を行いました。
- (3) 利用者様個々の課題を利用者様と個別相談を行いました。又、必要に応じ、保護者様と情報を共有し、相談しながら利用者様本人にとってより良い生活へ向けての支援を致しました。
- (4) 職員間・医療機関との連絡調整を蜜に行うことで緊急時の対応を強化しました。
- (5) 法人内外の事業所と連絡調整をすることで利用者様の情報を共有し、支援の統一に努めました。
- (6) 休日においては、入所施設と協力しボランティア行事に参加したりと余暇の提供に努めました。
- (7) 地域行事への参加としては、地域清掃・町内会お祭り、神輿・緑区のお祭りと積極的に行事への参加を行っていきました。

その他

月別利用実績

利用月	あゆみ寮 5名/6名	のぞみ寮 6名/6名	ひかり寮 0名/6名	つばさ寮 6名/7名	さくら寮 5名/5名
4月	42.22%	100.00%	78.33%	84.29%	59.33%
5月	45.70%	100.00%	76.88%	83.41%	60.00%
6月	46.67%	100.00%	78.33%	85.71%	60.00%
7月	46.24%	100.00%	79.57%	85.71%	60.00%
8月	44.62%	100.00%	76.88%	82.49%	59.35%
9月	45.56%	100.00%	78.33%	85.71%	60.00%
10月	44.09%	100.00%	80.11%	85.71%	56.77%
11月	82.22%	100.00%	0.00%	67.62%	94.67%
12月	81.72%	99.46%	0.00%	59.91%	91.61%
1月	81.18%	100.00%	0.00%	67.74%	92.26%
2月	82.14%	100.00%	0.00%	71.43%	94.29%
3月	82.80%	100.00%	0.00%	71.43%	93.55%
合計	60.32%	99.95%	45.49%	77.61%	73.37%

2. 多機能型事業所しいのみ園 ころ

作成者 安藤 成昭

運営総括

生活介護事業と就労支援継続支援 B 型事業のサービスを提供する多機能型事業所として運営している。誉田駅前の立地を生かし、地域に根差した事業所を目標に日々の日中活動に取り組んだ。

生活介護部門においては、利用者様の主体的な活動参加を目指し利用者のニーズに応じたカリキュラムにより活動を提供した。

就労部門においては、仕事を通して目標を達成する喜び、やりがいを持って頂ける様、リネン班、農耕班、喫茶班、製菓班の 4 部門で事業展開した。

<生活介護部門>

事業内容

- (1) 創作活動・軽作業
季節の装飾作り、切り絵、コースター作り、学習プリント、おやつ作り
- (2) 健康維持活動
ラジオ体操、室内ウォーキング、公園散策、ガーデニング
- (3) 地域奉仕活動
近隣の駅、道路、公園の清掃活動
- (4) 余暇活動
カラオケ、レク運動、DVD 鑑賞、ミュージックケア、事業所内行事
- (5) 送迎サービス
自宅からしいのみ園ころまでの送迎を実施
- (6) ボランティアの受け入れ
ハーモニカボランティアグループによる演奏・合唱を月に一度実施
不定期でボランティアによるギターアンサンブルの演奏鑑賞を実施
隔月で訪問理容を実施

活動報告

創作活動・軽作業では、利用者様の意思決定に重点を置き、ニーズに合わせた活動を提供した。活動の中でも公園散策や地域清掃、ガーデニングにおいては、地域住民との挨拶を交わし、交流を深める事が出来ている。

その他にも余暇活動としてカラオケやダーツ、ボウリングを提供した。年間のイベントとして、お花見、ボウリング大会、食事作り、お風呂外出を実施している。

その他

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	20名	23名	447名	21日	106.43%
5月	20名	23名	480名	23日	104.35%
6月	20名	23名	447名	21日	106.43%
7月	20名	23名	469名	22日	106.59%
8月	20名	23名	471名	23日	102.39%
9月	20名	23名	423名	20日	105.75%
10月	20名	23名	471名	23日	102.39%
11月	20名	23名	434名	22日	98.64%
12月	20名	23名	401名	20日	100.25%
1月	20名	24名	407名	20日	101.75%
2月	20名	24名	402名	20日	100.50%
3月	20名	24名	421名	21日	100.24%
合計			5273名	256日	102.99%

※1・・・定員20名に対する稼働率、少数点第2位以下切り捨て

<就労継続支援B型部門>

事業内容

- (1) リネン部門
衣類等の洗濯、仕分け及び搬入作業
- (2) 農耕部門
野菜栽培・店舗納品
- (3) 喫茶部門
福祉ショップ「ふくろう屋」の営業
- (4) 製菓部門
製菓作成

活動報告

1. リネン部門

しいのみ園契約利用者の衣類等の洗濯物を個人別に仕分け、たたみ作業と居室への配送を行っている。ルーティンワークに適性のある利用者を対象に安定的な作業プログラムとして提供できている。また、アイロンかけや雑巾作り衣類補修なども請け負っている。

2. 農耕部門

近隣のハウス、畑を借りて野菜栽培に取り組んでいる。約40種類の野菜を育て年間を通して安定した収穫量を確保している。また販売先として、主に福祉ショップ「ふくろう屋」

と「ふくろう屋2号店」「はーとふるメッセ千葉寺店」、「なりたや誉田店」に納品している。
 夏季は路地栽培、冬季はハウス栽培を中心に行っている。

3. 喫茶部門

誉田駅徒歩5分の立地に福祉ショップとして、月・水・金の10:30～15:30まで営業している。喫茶以外に農耕部門の育てた野菜や関連事業所が作成した陶芸やビーズ製品、花などを販売している。地域に根差し、憩いの場としての空間を目指している。近隣の方のリピーターも多く、安定した売り上げが得られるようになってきている。また、冬季には「紅はるか」という品種を使った焼き芋が好評を博しており、名物となっている。

4. 製菓部門

月～金の週5日、しいのみ園グループ全利用者のおやつ約100食を安定的に提供することができた。また、平成29年11月よりハートケアライフ誉田のおやつ約30食の提供を開始した。今後の商品化も視野に入れ、取り組んでいる。

5. 工賃支給額

時給180円（日給900円）を支給した。月額平均16,000円程度を支給できている。

その他

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	10名	9名	181名	21日	86.19%
5月	10名	9名	205名	23日	89.13%
6月	10名	9名	188名	21日	89.52%
7月	10名	9名	196名	22日	89.09%
8月	10名	9名	203名	23日	88.26%
9月	10名	9名	172名	20日	86.00%
10月	10名	10名	228名	23日	99.13%
11月	10名	10名	218名	22日	99.09%
12月	10名	10名	198名	20日	99.00%
1月	10名	10名	198名	20日	99.00%
2月	10名	10名	197名	20日	98.50%
3月	10名	10名	208名	21日	99.05%
合計			2392名	256日	93.44%

※1・・・定員10名に対しての稼働率、少数点第2位以下切り捨て

3. 生活介護事業所しいのみ園こころの都

作成者 姜兌珉

運営総括

地域に住む重度・最重度の利用者を対象とし、理解しやすい活動内容とすることで、意欲的に活動へ参加出来るよう支援している。主に余暇的な活動を通して健康維持や体力向上を目指し、その上で充実感を感じることが出来る活動を提供している。また、個々のニーズを汲み取り、活動内容に取り入れていくことで、利用者主体の活動となるようサポートしている。

地域社会の一員という自覚を持ち、地域の社会資源との関わりを持って積極的な社会参加を目指している。また、地域の社会資源として、地域に根差した事業所運営を行っている。

事業内容

- | | |
|-----------|--|
| (1) 場 所 | 千葉市中央区都町1 1 5 7 番地 1 |
| (2) 営 業 日 | 月曜日～金曜日（祭日も含む）
1 2 月 3 0 日～1 月 3 日 は 休 業 |
| (3) 営業時間 | 8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0 |
| サービス提供時間 | 9 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0 |
| (4) 送 迎 | 自宅まで送迎サービスを行う。
(朝) 迎え出発 8 : 0 0 ~ 8 : 3 0
(夕) 送り出発 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0 |
| (5) 対象利用者 | 千葉市内（一部市原市含む）在住で1 8 歳以上の知的障害者の方で、障害程度区分が3以上の方（5 0 歳以上は障害程度区分が2以上の方） |
| (6) 定 員 | 2 0 名 |
| (7) 勤務体制 | 日勤1 8 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0（休憩1時間）
日勤2 8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0（休憩1時間） |

支援内容

- (1) リフレッシュ活動：健康を維持し、更に気分転換を図る事業所外活動
利用者様の健康面の維持を目指して公園内の散策を行い、散策を通して気持ちの切り替えや午後の活動への意欲を持つことが出来ている。
- (2) リラックス活動：個人の能力に応じた個別活動及び情緒面の安定を図る活動
 - ① ミュージックケア
個人の好みに合わせた音楽を提供する事で情調綿の安定、また本人の能力や興味に合わせて楽器等の道具を利用して体を動かす事で楽しみのある活動を提供している。
 - ② 洗濯物たたみ、仕分け
「仕事をする」意識付けと共に「出来る」ことを増やして行く事を目標で洗濯物干し、たたみ、仕分けを行っている。「自分の仕事」であることの意識を持って行う事が出来ている。
 - ③ スヌーズレン

今年度から試行的に行った活動。初めての活動であり、利用者様の参加が難しい場合がある。来年度より試行錯誤をしながら改善する。

③ 音楽鑑賞、映画鑑賞

情調面の安定を目標に本人の好みの音楽を提供している。音楽鑑賞、映画鑑賞を行う事で自傷の軽減や楽しい毎日を過ごす事が出来ている。

④ 外出支援

外出支援を行うことで情調面の安定を目標にした上、それに満足せず地域の一人として地域社会に参加への訓練を支援している。

⑤ おやつ作り

個人の能力に合わせておやつ作りの工程を分け、皆様と力を合わせておやつを作り、またその過程を利用者様に見せる事で楽しみあるおやつ作りを提供している。

(3) リサイクル活動

① 空き缶潰し

仕事として空き缶潰しを行い、空き缶をリサイクルセンターに販売している。毎月の売上は約 5000 円前後で3 ヶ月一度、お弁当等での還元を行っている。まだ仕事である意識は薄く、利用者様が行った空き缶潰しでお弁当等を購入する意識も薄いですが常に声掛けを行い、仕事である事を意識付ける様に支援している。

② ゴミ回収 (しいのみ園グループ全事業所)

活動報告

(1) 実績報告

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率※1
4月	20名	19名	352名	21日	83.81%
5月	20名	19名	363名	23日	78.91%
6月	20名	19名	338名	21日	80.48%
7月	20名	19名	356名	22日	80.91%
8月	20名	19名	321名	23日	69.78%
9月	20名	19名	319名	20日	79.75%
10月	20名	19名	368名	23日	80.00%
11月	20名	19名	343名	22日	77.95%
12月	20名	19名	296名	20日	74.00%
1月	20名	19名	304名	20日	76.00%
2月	20名	19名	313名	20日	78.25%
3月	20名	19名	333名	21日	79.29%
合計			4006名	256日	78.24%

※1・・・定員20名に対しての稼働率、少数点第2位以下切り捨て

4. 放課後等デイサービス事業所

しいのみ園ともみやこ

作成者 中根 慶太

運営総括

放課後等デイサービスに関する業務を行い、関係機関や保護者と連携し、利用者様の人権尊重、充実した支援を第一に考え受入れを行っている。個別支援計画に基づき、全職員が統一した支援を行っている。

集団療育を中心とした活動種を10種類程度提供している。児童が楽しめる活動や精神安定に繋がる活動を多く取り入れている。個別活動が少ないため、次年度からは新たにプログラムを組んでいく予定。

事業内容

- | | |
|--------------|---|
| (1) 場 所 | 千葉市中央区都町 1157-1 |
| (2) 営 業 日 | 月曜日～土曜日（祝日含む） |
| 休 業 日 | 日曜日 |
| 夏季休業 | 8月13日～8月15日 |
| 冬季休業 | 12月30日～1月 3日 |
| (3) 営業時間 | 平日（登校日） 10:00～19:00
土曜日、祝日及び休校日 8:30～19:00 |
| (4) サービス提供時間 | 平日（登校日） 15:00～17:30
土曜日、祝日及び休校日 10:00～17:30 |
| (5) 送 迎 | 自宅及び学校まで送迎サービスを実施します。
平日（登校日）
(昼) 迎え出発 13:30～15:00
(夕) 送り出発 17:30
土曜日、祝日及び休校日
(朝) 迎え出発 8:30～9:00
(夕) 送り出発 17:30 |
| (6) 対象利用者様 | 千葉市内に住む知的障害児 |
| (7) 定 員 | 1日あたり10名 |
| (8) 勤務体制 | 日勤1 8:30～17:30（休憩1時間）
日勤2 10:00～19:00（休憩1時間） |

活動内容

- (1) 日常生活訓練（手洗い、更衣、排泄、食事等）
- (2) 集団生活適応訓練（挨拶、会話、団体活動等）
- (3) 余暇的活動（壁面作り、DVD鑑賞、公園外出、散策、プール遊び等）
- (4) 音楽療法（ミュージックケア）

業務内容

- (1) 個別支援計画、モニタリングの作成
 - ① 保護者や本人からのニーズを聞き取り、個別支援計画書の作成を行う。
 - ② 半期に一度モニタリングを行い、目標に対する達成具合や目標設定の妥当性、支援内容が適当であったかを検証する。
- (2) 受入れ調整
 - ① 新規利用者の契約、受入れ準備を行う。
 - ② 受入れ人数の把握、調整を行う。
- (3) 送迎サービス
 - ① 安全運転を常に意識し、自宅又は学校までの送迎を行う。
- (4) 関係機関との連絡調整
 - ① 主に学校とのタイアップを強化する。
- (5) 請求業務（利用者上限管理を含む）
 - ① 事務職員、他事業所との連携を図り、正確な請求を行う。

実績報告

(1) 利用者状況（稼働率）

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	10名/日	12名	151名	25日	60.40%
5月	10名/日	12名	165名	27日	61.11%
6月	10名/日	12名	169名	26日	65.00%
7月	10名/日	12名	155名	26日	59.62%
8月	10名/日	12名	140名	24日	58.33%
9月	10名/日	12名	142名	25日	56.80%
10月	10名/日	12名	164名	27日	60.74%
11月	10名/日	12名	148名	26日	56.92%
12月	10名/日	11名	155名	25日	62.00%
1月	10名/日	11名	137名	24日	57.08%
2月	10名/日	11名	133名	24日	55.42%
3月	10名/日	11名	152名	26日	58.46%
合計			1811名	305日	59.38%

※小数点第2位以下切り捨て

(2) 利用者状況（年齢／性別）

	低学年	高学年	中学生	高校生	総計人数
男性			1	9	10
女性			1	1	2

総数			2	10	12
----	--	--	---	----	----

(3) 苦情について

年月日	苦情申出者	苦情の種類	原因	内容	対応
H30 12/4	近隣住民	口頭	4	①車のドアの開け閉めの音がとても響く。 ②入口の門扉のガラガラ音がうるさい。もう少し静かに閉められないか。 ③駐車場で職員が大声で話すのが丸聞こえ。 ④児童か成人が甲高い声で叫ぶような声はなんとかならないか。 これらのことで精神的に参っているとのことです。	「地域とともに」が心友会の理念でもあります。特に住宅街の中で事業をしていることもあり、内容は厳粛に受け止め上記の件に対応していきたいと思います。 ①車のドアは極力音を立てないように閉めてください。 ②門扉を閉める時はゆっくりと閉めてください。 ③駐車場内では利用者を大きな声で呼ばない。職員間の話も控える。 ④利用者が外で大声を出す場合は迅速に室内に入ってもらおう。

※発生原因・・・ 1、説明不足 2、職員の態度・言動 3、サービス内容 4、その他

(5) 事故報告・ヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヒヤリ	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事故	1	4	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0

【内容】排泄で失敗し、施設の下着を着用してもらい洗濯をしている。帰りの送迎時に着替えを行うのを忘れてしまう。途中気づき引きかえし着替え対応している。

【対策】帰りの荷物チェック時をする際、洗濯機に貼っているホワイトボードの確認も行う。

【内容】送迎車のワイパーが突然止まってしまう。

【対策】雨の日に限らず曇行きが不穏な際は出発前にワイパーが作動するか確認する。

【内容】連絡ノートを返却するのを忘れてしまった。

【対策】雨天の場合、全児童、カバンに連絡ノートを入れる。実績は後日サインをいただく。

【内容】汚れた衣類を返却し忘れる。

【対策】児童ルームの忘れ物チャックを給湯室、トイレまで行う。

【内容】児童のハンドタオルを児童ルームに置いていたところ他児童が自分のカバンの脇のポケットにしまった。

【対策】個人ロッカー内のリュック脇ポケットに入れること

【内容】学校から施設までの送迎時、児童が送迎車の窓から外に物を捨てている。職員が外へ拾いに行こうとすると児童が職員に対して向かってきている。

【対策】送迎は男性職員2名体制で送迎を行う。

【内容】児童が特定の曜日に不穏になることが多い。

【対策】利用者が多く、刺激が多いのが原因と考える。他の曜日では比較的落ち着いているのでその時のルーティーンを確認し対応を検討する。

【内容】みやこよりたかだへ移動中他児童が職員に対して髪引きを行っている。

【対策】車内把握の見直しを行う。

【内容】他児童へ間違えてハンカチを持って帰ってしまった。

【対策】特定の児童がハンカチを拾うと、持参して来ている児童へ渡してしまっている。反感を拾った場合は職員へ渡すよう声掛けを行う。

【内容】送迎時、職員が荷物をトランクから取り出そうとしている時に乗車中の児童がトランクから降りようとする。

【対策】車内から開閉できる車両は控える。自宅へ到着後も車内灯を点けて把握を行う。

【内容】児童を保護者へ引き渡す時に道路に向かって走り出している。

【対策】車両から降車する際は、本人の腕を持ち誘導し保護者へ引き渡す。

運営総括

放課後等デイサービスに関する業務を行い、関係機関や保護者と連携し、利用者様の人権尊重、充実した支援を第一に考え受入れを行っている。個別支援計画に基づき、全職員が統一した支援を行っている。

事業内容

- | | |
|--------------|---|
| (1) 場 所 | 千葉県緑区高田町 1953 番地 1 |
| (2) 営 業 日 | 月曜日～土曜日（祝日含む） |
| 休 業 日 | 日曜日 |
| 夏季休業 | 8月13日～8月15日 |
| 冬季休業 | 12月30日～1月 3日 |
| (3) 営業時間 | 平日（登校日） 10：00～19：00
土曜日、祝日及び休校日 8：30～19：00 |
| (4) サービス提供時間 | 平日（登校日） 15：00～17：30
土曜日、祝日及び休校日 10：00～17：30 |
| (5) 送 迎 | 自宅及び学校まで送迎サービスを実施します。
平日（登校日）
(昼) 迎え出発 13：30～14：30
(夕) 送り出発 17：30
土曜日、祝日及び休校日
(朝) 迎え出発 8：30～9：00
(夕) 送り出発 17：30 |
| (6) 対象利用者様 | 千葉市内に住む知的障害児 |
| (7) 定 員 | 1日あたり10名 |
| (8) 勤務体制 | 日勤1 8：30～17：30（休憩1時間）
日勤2 10：00～19：00（休憩1時間） |

活動内容

- (1) 日常生活訓練（手洗い、更衣、排泄、食事等）
- (2) 集団生活適応訓練（挨拶、会話、団体活動等）
- (3) 余暇的活動（壁面作り、体力作り活動、ダンス活動、遠足外出、卒業外出、プール遊び、太鼓活動、昼食外出等）
- (4) 療育的活動（昼食購入体験、野菜栽培体験、餅つき体験、縁日体験、作って遊ぼう、スイカ割り体験、流しそうめん体験、昼食作り活動、おやつ作り活動等）
- (5) ミュージックケア
- (6) その他（スノーブレン、笑いヨガ等）

業務内容

- (1) 個別支援計画、モニタリングの作成
 - ① 保護者や本人からのニーズを聞き取り、個別支援計画書の作成を行う。
 - ② 半期に一度モニタリングを行い、目標に対する達成具合や目標設定の妥当性、支援内容が適当であったかを検証する。
- (2) 受入れ調整
 - ① 新規利用者の契約、受入れ準備を行う。
 - ② 受入れ人数の把握、調整を行う。
- (3) 送迎サービス
 - ① 安全運転を常に意識し、自宅又は学校までの送迎を行う。
 - ② 関係機関との連絡調整
 - ③ 主に学校とのタイアップを強化する。
- (4) 請求業務（利用者上限管理を含む）
 - ① 事務職員、他事業所との連携を図り、正確な請求を行う。

実績報告

(1) 利用者状況（稼働率）

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	10名/日	16名	153名	25日	61.20%
5月	10名/日	16名	161名	27日	59.63%
6月	10名/日	17名	156名	26日	60.00%
7月	10名/日	17名	175名	26日	67.31%
8月	10名/日	17名	156名	24日	65.00%
9月	10名/日	17名	155名	25日	62.00%
10月	10名/日	17名	183名	27日	67.78%
11月	10名/日	17名	157名	26日	60.38%
12月	10名/日	17名	143名	25日	57.20%
1月	10名/日	17名	127名	24日	52.92%
2月	10名/日	17名	138名	24日	57.50%
3月	10名/日	17名	158名	26日	60.77%
合計			1862名	305日	61.05%

※小数点第2位以下切り捨て

(2) 利用者状況（年齢／性別）H31.3時点

	低学年	高学年	中学生	高校生	総計人数
男性	2	1	0	4	7
女性	1	3	3	3	10
総数	3	4	3	7	17

(3) 苦情について

年月日	苦情申出者	苦情の種類	原因	内容	対応
	特になし				

※発生原因・・・1、説明不足 2、職員の態度・言動 3、サービス内容 4、その他

(4) 事故報告・ヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヒヤリ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
事故	0	0	1	1	2	2	2	1	0	1	3	0

【内容】児童ルーム清掃の際、児童の下着が隅から見つかった。

【対策】見えにくい所も徹底して確認を行う。

【内容】ノートが他児童ファイルに入っていた。

【対策】ノートは職員二人で確認をしながらファイリングする。

【内容】荷物の渡し忘れ。

【対策】帰宅前に児童ルームを忘れ物確認の際に使用するチェック表を作成し活用する。

【内容】送迎時、公用車のバッテリーがあがってしまった。

【対策】帰宅送迎の際、車の前から通ってランプの確認を行ってから保護者対応を行う。

(6) 目標・結果・理由

- ・目標：保護者参加型行事を行う。
- ・取り組みと結果：1年間の間、2回保護者アンケートを実施し、保護者参加型 BBQ 活動やキャンプ場で交流会を行っている。保護者様からも楽しかった等の意見を聞くことが出来た。
- ・改善点：保護者参加型行事を現状維持することはもちろん、保護者様、児童が気軽に参加出来る企画を土曜日を中心とし、年に4回～6回程度実施していく（親子で〇〇をやるう～！！企画（仮））。

5. 福祉のまちづくり支援室

作成者 福谷 章子

運営総括

社会福祉法人制度改革により、制度のはざまで取り残されている人たちへの支援の場を提供することを目的に平成28年2月にモデル開設し、同年4月から本格的な運営を始め、3年目となる。1階のふくろうカフェは利用者が増え、不特定多数が対象でありながら固有名詞で呼び合える関係が育ち、個別対応をしたケースがあり、近隣の福祉施設、社会福祉協議会、安心ケアセンターなどと連携した。しいのみ園こころの利用者さまの休憩場所として定着した。カフェ利用者の発案で始まった高齢者対象の体操教室は、毎月1回から2回へと機会を増やした。さらに歌の会への要望があり、代表者を決めて2月から毎月1回開催するなど、高齢者の健康増進につながる活動が広がっている。ふくろう広場では、発達が心配な子どもを持つ保護者の方々の話し合いの場が定着し、他部署との連携でミュージックケアや子ども陶芸など子どもたちが参加できる企画が定着した。不登校やひきこもりへの対応として話し合いを続けてきた哲学カフェは9月から実践活動へと移行し、おゆみ野の森で「どんじゃらほい」を毎月1回試行開催し、他機関の見学を受け入れ、連携を取り始めた。

以上のように、地域への周知と地域からの理解、他機関との連携が具体的に進み始めている。

事業内容

- | | |
|--------------|---|
| (1) 場 所 | 千葉市緑区誉田町2-7-12 茂木ビル1～2階 |
| (2) 営業日 | ふくろうカフェ 月曜日～金曜日
ふくろう広場 月曜日～金曜日 |
| 休業日 | 土曜日 日曜日 |
| 夏季休業 | 8月13日～8月15日 |
| 冬季休業 | 12月30日～1月 3日 |
| (3) 営業時間 | ふくろうカフェ 10:00～15:30
ふくろう広場 随時 |
| (4) 勤務体制 | パートタイムによるシフト制 |
| (5) 取り組み事業項目 | <ul style="list-style-type: none">・子育て支援事業・障害者福祉に関する総合的相談事業・学習支援事業・多世代の居場所事業・情報発信事業 |

活動内容

- 1) カフェ利用者は一日平均21人となり、近隣住民のみならず、通りすがりの人なども増えた。その一方で様々な要望があり、スタッフミーティングで話し合いながら解決をしている。
- 2) 1年間から継続している発達障害の子どもたちの保護者によるはぴママお茶会では、毎

月2回の話し合いと、長期休業中などの子どもたちと一緒に楽しむ企画の開催が定着し、ミュージックケア2回、いちよう隊のワークショップを開催した。

- 3) 不登校児支援者の勉強会哲学カフェは、9月から具体的な実践活動へと発展解消し、「森でどんじゃらほい」をおゆみ野の森で毎月1回試行開催した。森の利用に関しては、おゆみ野の森を育てる会の協力と指導を得て備品なども借用している。千葉市のひきこもり支援センターから問い合わせがあり、センターの相談者の体験の場として連携が始まっている。
- 4) 地域とのかかわりについては、カフェを利用して手芸や懇談をしたり、絵画作品などを展示する人や、介護相談を受けて地域包括支援センターにつないだ。介護施設ではない高齢者の居場所としても定着している。
- 5) スタッフ全員がパートのため、カフェ利用者からの要望などは日誌に書きしるして伝達するが、緊急を要したり全員に徹底すべきことはメーリングリストやSNSを活用した。

業務内容

(1) マネージメント

事業ごとの報告書の作成。スタッフ同士の情報共有を図るためのスタッフミーティングの開催。1号店との連携。シフト表の作成。事業の企画と実施。

(2) カフェの運営

室内の環境整備と呈茶の準備。傾聴に心がけた接客と地域へしいのみ園の情報発信。図書の管理。

(3) ふくろう広場の運営

はぴママお茶会、言の葉の会、地域活動への協力、陶芸教室や手芸教室の支援、地域からの相談

(4) 販売

野菜、手作り小物の販売

(5) 安全への配慮

消火器の扱い方確認と緊急連絡のための情報整理

その他

実績

(1) ふくろうカフェ

2016年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
開室日数	8	10	22	19	20	20	20	20	19	19	20	22	219
利用者数	51	53	135	101	76	126	134	134	88	125	147	191	1361
2017年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
開室日数	20	19	22	20	20	20	20	20	21	19	18	21	240
利用者数	202	222	292	377	328	277	323	348	394	348	337	383	3831
2018年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
開室日数	20	21	21	21	19	18	22	21	19	18	19	20	239
利用者数	346	389	413	468	387	426	550	453	445	337	349	354	4917

開設以来の一日当たりの平均利用者数の推移

2106年：7人 2017年：16人 2018年：21人

(2) ふくろう広場

1) 主催事業

- ・陶芸教室 毎週金曜日 40回
- ・手芸教室 隔週火曜日 18回
- ・発達障害児の保護者支援「はぴままお茶会」隔週水曜日 24回（ミュージックケア2回、いちょう隊ワークショップ1回含む）
- ・引きこもり不登校支援「哲学カフェ」5回、9月より「森でどんじゃらほい」に移行 7回（雨天のためふくろう広場使用1回含む）
- ・森でどんじゃらほいの参加者

	子ども	大人	ボランティア	スタッフ	備考
9/27	6	4	4	3	スタッフ現地研修
10/25	18	10	3	3	自主保育グループ参加
11/29	14	11	4	3	八街より見学
12/27	23	10	2	3	冬休み
1/24	11	7	1	2	ひきこもり支援センター3名見学
2/28	0	2	3	2	雨天のため今後の企画検討会
3/28	19	8	1	3	春休み ひきこもり支援センター見学

2) 地域連携事業

- ・子育て支援グループ「ほんだネット」へ貸し出し 16回

3) カフェ利用者自主事業

- ・体操教室 隔週木曜日（1月から毎週） 31回
- ・歌の広場 2月から毎月1回開催 2回

V. しいのみ園グループ委員会

1. 防災管理委員会

作成者 倉元 和司

運営総括

地震、火事を想定した避難訓練を行い災害時にスムーズに避難できるよう訓練を行っている。消火訓練では実際に水消火器や簡易消火栓を作動する訓練も実施した。また、災害時の備えとして防災備品や非常食を各事業所に配置し、管理を行っている。

事業内容

しいのみ園グループ職員の防災意識の向上・技術の習得（積極的な外部研修への参加）・防災備品の管理・非常食の管理、消防計画の作成、見直しを行い非常災害時に備える。

防災物品の備品状況

購入備品名	個数	有効期限	保管場所
発電機	2	-	しいのみ園防災倉庫
タープ	2	-	しいのみ園防災倉庫
防災食		33年12月	全事業所に1日3食3日分 200人分 ※
懐中電灯	20		しいのみ 10 ころ 3 ほんだ 5 都 2
非常用下水	不明		4ヶ所が多数
拡声器	2		しいのみ園事務所
救急箱 工具セット	各4		しいのみ園防災倉庫 2 しいのみ園ころ 1 しいのみ園ころの都 1
ヘルメット	46		しいのみ園事務所 14 しいのみ 1F 支援員室 10 しいのみ 2F 支援員室 10 しいのみ園ころ 5 しいのみ園ころの都 7
防災頭巾	74		しいのみ 1F 支援員室 25 しいのみ 2F 支援員室 25 しいのみ園あゆみ 6 しいのみ園のぞみ 6 しいのみ園ひかり 6 しいのみ園つばさ 6 しいのみ園さくら 6

※防災食については給食委員会で管理

活動報告

(1) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園）

実施日	訓練名	訓練内容
6/7	救急救命講習	<p>目的 : AED を用いた心肺蘇生法、異物除去の救命処置と止血法を学ぶ。</p> <p>時間 : 13:00～16:00</p> <p>内容 : マネキン、AED を使いながら胸骨圧迫、人工呼吸を実践。救命措置、止血法の訓練。</p>
9/17	ロープワーク	<p>目的 : 縄を使用し、使用方法を学ぶ。</p> <p>時間 : 14:00～14:30</p> <p>内容 : ロープワークの資料を見ながら訓練。</p> <p>参加者 : 職員 3 名 合計 3 名</p>
10/17	総合防災訓練	<p>目的 : 夜間災害を想定し、少ない職員数で対応できるよう訓練する。</p> <p>時間 : 09:00～09:30</p> <p>内容 : 少人数で避難誘導実施。</p> <p>参加者 : 利用者 40 名 職員 3 名 合計 43 名</p>
3/29	夜間総合防災訓練	<p>目的 : 夜間災害を想定し、少ない職員数で対応できるよう訓練する。</p> <p>時間 : 09:00～09:30</p> <p>内容 : 少人数で避難誘導実施。</p> <p>参加者 : 利用者 40 名 職員 3 名 合計 43 名</p>

(2) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園こころ）

実施日	訓練名	訓練内容
11/28	地震想定訓練	<p>目的 : 地震発生時の避難誘導技術の習得を図る</p> <p>時間 : 10:30～11:00</p> <p>参加者 : 利用者 20 名 職員 7 名 合計 27 名</p>
3/19	総合防災訓練	<p>目的 : 地震・火災に対して避難誘導技術の習得を図る。</p> <p>時間 : 10:30～11:00</p> <p>参加者 : 利用者 18 名 職員 9 名 合計 27 名</p>

(3) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園ほんだ）

実施日	訓練名	訓練内容
2/23	総合防災訓練 (あゆみ寮・のぞみ寮・ ひかり寮・さくら寮)	目的 : 火災に対して避難誘導技術の習得を 図る。 時間 : 9:30~10:00 参加者 : 利用者 18名 職員 5名 合計 23名

(4) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園こころの都）

実施日	訓練名	訓練内容
9/24	総合防災訓練	目的 : 地震・火災に対して避難誘導・散水 技術の習得を図る。 時間 : 10:15~10:45 参加者 : 利用者 25名 職員 10名 合計 35名
3/27	総合防災訓練	目的 : 地震に対して避難誘導技術の習得を 図る。 時間 : 10:15~10:45 参加者 : 利用者 19名 職員 10名 合計 40名

2. 給食委員会

作成者 長谷川由佳

運営総括

利用者一人ひとりに対して、適切な食事形態での提供ができているのか確認し、月に1回検討し、改善していった。また、年間目標や月間目標を設定し、食事に対する意識向上や衛生管理、感染症予防等の啓発活動や現場指導を行っている。昨年度の検討事項であった殺虫器については捕虫器を購入し設置している。

また、給食係の実施した嗜好調査をもとにセレクト食を実施している。

事業内容

- (1) 食事形態の確認、見直し
利用者様の食事形態についての検討会を実施し、必要に応じて変更していった。
- (2) 食事環境の確認、見直し
捕虫器のシート購入、エプロン購入等を行った。
- (3) 趣向調査、セレクト食・行事食の導入
年に7回のセレクト食、3回の行事食を実施した。
- (4) 健康チェック
看護師、栄養士と連携し、それぞれの健康状態に適した、安心安全な食事提供を行った。

活動報告

- (1) 捕虫器の購入・設置
- (2) 年間目標・月間目標の設定および目標に対しての啓発運動、対応改善
- (3) セレクト食の実施
 - ・ 5月…スパゲッティ (ボロネーゼ or たらこバター)
 - ・ 6月…カレートッピング (ハンバーグ or 唐揚げ)
 - ・ 7月…アイス (チョコレート or いちご)
 - ・ 9月…サンマ料理 (かば焼き or 竜田揚げ)
 - ・ 10月…丼物 (かつ丼 or ロコモコ丼)
 - ・ 11月…つけ麺 (味噌 or 塩)
 - ・ 2月…巻き寿司 (助六・サラダ・マグロ)
- (4) 食事形態の検討会 (毎月)

3. 衛生委員会

作成者 中根 慶太

運営総括

栄養士、保健師、産業医等に講師になってもらい健康管理指導やメンタルヘルスキアの講習会の開催等を企画実行した。職員の健康管理に重点を置いて運営してきたが、来年度は労働安全衛生の向上に努められるような話し合いの場を設けることができたらと感じた。また、セーフティドライバーズ（安全運転活動）への参加は次年度も継続し安全運転を心掛ける。

事業内容

- (1) 職場環境（労働安全衛生）の向上
- (2) 職場の健康管理
- (3) 安全運転の推進
- (4) 職員のメンタルヘルスキア

活動報告

- 5 月・・・セーフティドライバーズ（安全運転活動）への参加
- 7 月・・・保健師による健康管理指導
- 3 月・・・メンタルヘルスキア（産業医による講演会）
来年度テーマ選定

VI. 決算報告

1、貸借対照表

社会福祉法人名 社会福祉法人 心友会

Page: 1

法人単位貸借対照表

平成31年 3月31日現在

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

（単位：円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	483,748,417	479,170,506	4,577,911	流動負債	114,521,914	185,401,939	-70,880,025
現金預金	324,105,110	333,198,353	-9,093,243	事業未払金	58,017,088	53,027,310	4,989,778
事業未収金	107,868,424	100,365,849	7,502,575	その他の未払金	17,631,507		17,631,507
未収金	37,322,195	37,517,289	-195,094	1年以内返済予定設備資金借入金	5,840,000	5,840,000	
未収補助金	1,429,502	1,367,292	62,210	1年以内返済予定長期運営資金借入金		2,032,000	-2,032,000
立替金	447,621	25,380	422,241	1年以内返済予定リース債務	1,999,728		1,999,728
前払費用	4,030,810		4,030,810	1年以内支払予定長期未払金	341,460	341,460	
仮払金	8,544,755	6,696,343	1,848,412	未払費用	399,467		399,467
固定資産	748,349,969	709,226,551	39,123,418	預り金	142,988	159,680	-16,692
基本財産	307,860,561	319,289,982	-11,429,421	職員預り金	10,716,809	11,145,581	-428,772
土地	22,038,000	22,038,000		前受金		95,872,087	-95,872,087
建物	285,822,561	297,251,982	-11,429,421	仮受金	9,432,867	6,983,821	2,449,046
その他の固定資産	440,489,408	389,936,569	50,552,839	賞与引当金	10,000,000	10,000,000	
土地	34,559,616	34,559,616		固定負債	32,961,974	31,781,144	1,180,830
建物	64,765,166	44,763,317	20,001,849	設備資金借入金	17,520,000	23,360,000	-5,840,000
建物付属設備	135,796,839	115,339,437	20,457,402	リース債務	5,832,540		5,832,540
構築物	27,357,097	25,921,902	1,435,195	退職給付引当金	8,898,125	7,368,375	1,529,750
機械及び装置	2,482,982	152,280	2,330,702	長期未払金	711,309	1,052,769	-341,460
車輛運搬具	13,034,419	14,171,833	-1,137,414	負債の部合計	147,483,888	217,183,083	-69,699,195
器具及び備品	9,821,233	13,402,294	-3,581,061				
建設仮勘定	56,700,000		56,700,000	純 資 産 の 部			
有形リース資産	7,914,888		7,914,888	基本金	22,038,000	22,038,000	
ソフトウェア	779,801	152,600	627,201	基本金	22,038,000	22,038,000	
退職給付引当資産	8,728,125	7,214,625	1,513,500	国庫補助金等特別積立金	277,404,785	293,292,659	-15,887,874
施設整備積立資産	26,030,392	82,498,885	-56,468,493	国庫補助金等特別積立金	277,404,785	293,292,659	-15,887,874
修繕積立資産	51,700,000	51,700,000		その他の積立金	77,730,392	134,198,885	-56,468,493
差入保証金	35,400		35,400	施設整備積立金	26,030,392	82,498,885	-56,468,493
リースリース預託金	70,620	24,380	46,240	修繕積立金	51,700,000	51,700,000	
長期前払費用	712,830		712,830	次期繰越活動増減差額	707,441,321	521,684,430	185,756,891
				次期繰越活動増減差額	707,441,321	521,684,430	185,756,891
				（うち当期活動増減差額）	129,288,398	19,061,680	110,226,718
資産の部合計	1,232,098,386	1,188,397,057	43,701,329	純資産の部合計	1,084,614,498	971,213,974	113,400,524
				負債及び純資産の部合計	1,232,098,386	1,188,397,057	43,701,329

脚注

- 減価償却費の累計額
- 徴収不能引当金の額

2、事業活動計算書

法人単位事業活動計算書

(自) 平成30年 4月 1日 (至) 平成31年 3月31日

第二号第一様式 (第二十三条第四項関係)

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収	就労支援事業収益	8,969,582	7,740,374	1,229,208
		障害福祉サービス等事業収益	624,083,859	616,134,911	7,948,948
		生産活動収益	1,629,809	1,071,479	558,330
		その他の収益	9,220	9,540	-320
		経常経費寄附金収益	200,000	40,000	160,000
		サービス活動収益計(1)	634,892,470	624,996,304	9,896,166
	費	人件費	400,149,085	406,618,032	-6,468,947
		事業費	68,751,439	67,417,602	1,333,837
		事務費	97,274,128	95,690,490	1,583,638
		就労支援事業費用	8,438,075	8,367,280	70,795
	減価償却費	45,668,535	48,801,966	-3,133,431	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-15,887,874	-20,895,618	5,007,744	
	サービス活動費用計(2)	604,393,388	605,999,752	-1,606,364	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	30,499,082	18,996,552	11,502,530	
サービス活動外増減の部	収	借入金利息補助金収益	240,900	289,080	-48,180
		受取利息配当金収益	14,310	9,525	4,785
		その他のサービス活動外収益	6,166,100	7,078,884	-912,784
		サービス活動外収益計(4)	6,421,310	7,377,489	-956,179
	費	支払利息	333,520	419,570	-86,050
		その他のサービス活動外費用	5,407,418	5,953,474	-546,056
	サービス活動外費用計(5)	5,740,938	6,373,044	-632,106	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	680,372	1,004,445	-324,073	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	31,179,454	20,000,997	11,178,457	
特別増減の部	収	施設整備等補助金収益	4,380,000	6,105,000	-1,725,000
		固定資産売却益	156,059	20,330	135,729
		その他の特別収益	96,116,603	53,615,913	42,500,690
		特別収益計(8)	100,652,662	59,741,243	40,911,419
	費	固定資産売却損・処分損	66,500	41,783,327	-41,716,827
		国庫補助金等特別積立金積立額		11,233,000	-11,233,000
		その他の特別損失	2,407,218	7,102,133	-4,694,915
		特別費用計(9)	2,473,718	60,118,460	-57,644,742
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	98,178,944	-377,217	98,556,161
		税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	129,358,398	19,623,780	109,734,618
	法人税、住民税及び事業税(12)	70,000	562,100	-492,100	
	法人税等調整額(13)				
	当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	129,288,398	19,061,680	110,226,718	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(15)	521,684,430	502,622,750	19,061,680
		当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	650,972,828	521,684,430	129,288,398
		基本金取崩額(17)			
		その他の積立金取崩額(18)	57,000,000		57,000,000
		その他の積立金積立額(19)	531,507		531,507
		次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	707,441,321	521,684,430	185,756,891

3、資金収支計算書

社会福祉法人名 社会福祉法人 心友会

Page: 1

法人単位資金収支計算書

(自) 平成30年 4月 1日 (至) 平成31年 3月31日

第一号第一様式 (第十七条第四項関係)

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収				
		就労支援事業収入	8,674,000	8,969,582	-295,582
		障害福祉サービス等事業収入	627,059,000	624,083,859	2,975,141
		生産活動収入	1,613,000	1,629,809	-16,809
		その他の収入	14,000	9,220	4,780
		借入金利息補助金収入	241,000	240,900	100
		経常経費寄附金収入	200,000	200,000	
		受取利息配当金収入	15,000	14,310	690
		その他の収入	6,082,000	6,007,285	74,715
		事業活動収入計(1)	643,898,000	641,154,965	2,743,035
出	支				
		人件費支出	398,460,000	397,883,020	576,980
		事業費支出	70,830,000	68,751,439	2,078,561
		事務費支出	100,144,000	97,274,128	2,869,872
		就労支援事業支出	7,980,000	7,854,906	125,094
		支払利息支出	339,000	333,520	5,480
		その他の支出	5,684,000	5,407,418	276,582
		法人税、住民税及び事業税支出	70,000	70,000	
	事業活動支出計(2)	583,507,000	577,574,431	5,932,569	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	60,391,000	63,580,534	-3,189,534	
施設整備等による収支	収				
	入	施設整備等補助金収入	4,380,000	4,380,000	
		固定資産売却収入	601,000	600,440	560
		その他の施設整備等による収入	290,000	237,610	52,390
		施設整備等収入計(4)	5,271,000	5,218,050	52,950
出	支				
		設備資金借入金元金償還支出	5,840,000	5,840,000	
		固定資産取得支出	129,819,000	130,083,286	-264,286
		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,167,000	2,166,372	628
	その他の施設整備等による支出	1,041,000	996,680	44,320	
	施設整備等支出計(5)	138,867,000	139,086,338	-219,338	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-133,596,000	-133,868,288	272,288	
その他の活動による収支	収				
	入	積立資産取崩収入	57,000,000	57,000,000	
		その他の活動による収入	96,114,000	96,116,603	-2,603
	その他の活動収入計(7)	153,114,000	153,116,603	-2,603	
出	支				
		長期運営資金借入金元金償還支出	1,992,000	2,032,000	-40,000
		積立資産支出	2,091,000	2,622,507	-531,507
		その他の活動による支出	2,916,000	2,748,678	167,322
	その他の活動支出計(8)	6,999,000	7,403,185	-404,185	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	146,115,000	145,713,418	401,582	
	予備費支出(10)				
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	72,910,000	75,425,664	-2,515,664	
	前期末支払資金残高(12)		311,982,027	-311,982,027	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	72,910,000	387,407,691	-314,497,691	

4、経営指標（2期分 法人全体）

経営指標	各指標	平成 29 年度	平成 30 年度	前年度対比 (適正值)
収益性	事業活動収入	624,996	634,892	101.5%
	事業活動支出	605,999	604,393	99.7%
	事業活動収支差額	18,996	30,499	160.5%
	収支差額率	3.0%	4.8%	(10%前後)
合理性	人件費率	63.4%	61.9%	(65%以内)
	材料費率	10.5%	10.6%	(15%以内)
	減価償却費率	10.9%	9.5%	(3%以内)
	委託比率	5.2%	5.3%	(8.5%以内)
	経費率	9.7%	9.7%	(5.5%以内)
生産性	職員一人あたり事業収入	609	599	98.3%
	労働生産性	437	432	98.8%
	労働分配率	71.6%	85.7%	(80%前後)

単位：千円

5. 人事記録

社会福祉法人心友会 人事記録(法人全体)

職員体制 (平成31年3月31日)

職 種	男性職員			女性職員			合計			常勤換算
	正規	準職員	パート	正規	準職員	パート	正規	準職員	パート	
管理者	3			1			4	0	0	4.00
生活支援員	14	6	29	12	6	40	26	12	69	75.46
看護師				1	1	2	1	1	2	3.20
栄養士					1		0	1	0	1.00
相談員		1					0	1	0	0.35
事務員				3	2	2	3	2	2	5.90
合計	17	7	29	17	10	44	34	17	73	89.91

職員年齢構成比 (平成31年3月31日)

年齢と性別	年齢区分	20歳未満	20代	30代	40代	50代	65歳未満	65歳以上	計	
	男	正規	0	6	7	2	1	0	1	17
		非正規	0	1	2	5	4	4	23	39
女	正規	0	12	2	1	2	3	0	20	
	非正規	0	2	2	14	14	7	9	48	
計	正規	0人	18人	9人	3人	3人	3人	1人	37人	
	非正規	0人	3人	4人	19人	18人	11人	32人	87人	

職員の勤務体制

職 種	勤 務 体 制
管 理 者	日 勤 8:30 ~ 17:30 常勤で勤務
生 活 支 援 員	早 番 6:00 ~ 15:00
	日 勤 8:30 ~ 17:30
	遅 番 12:00 ~ 21:00
	管 理 宿 直 8:30 ~ 9:30
世 話 人	夜 勤 17:30 ~ 9:30 入所施設は管理宿直と合わせて毎日3名体制
	日 勤 8:30 ~ 17:30 土日を中心に日中支援
看 護 師	夜 勤 16:00 ~ 9:30 グループホームは1施設1人の夜勤世話人が常駐
看 護 師	日 勤 8:30 ~ 17:30 夜間、休日でも対応します
栄 養 士	日 勤 8:30 ~ 17:30
事 務 員	日 勤 8:30 ~ 17:30
相 談 員	日 勤 8:30 ~ 17:30

職員の割合、平成30年度資格取得者、有資格者について

職員区分	職員数	割合
正規職員	34	27.42%
準職員	17	13.71%
パート職員	73	58.87%
合計	124	100.00%

資格名	取得人数
介護福祉士	9名取得
知的障害福祉士	1名取得
知的障害者援助専門員	4名取得
実務者研修	7名取得
福祉施設士	1名取得
秘書技能検定2級	2名取得

保有資格	人数
社会福祉士	6名
介護福祉士	25名
保育士	11名
福祉施設士	4名
知的障害福祉士	3名
知的障害者援助専門員	31名
ヘルパー1,2級	22名
介護支援専門員	4名
看護師(準看護師含む)	4名
管理栄養士	1名
衛生管理者	1名
福祉住環境コーディネーター2級	11名

